

4. 「糖尿病診療の現状と課題」

NTT東日本札幌病院

副院長・内科診療部長 吉岡成人
座長 北海道医師会常任理事 櫻井晃洋

糖尿病はその罹病率と合併症の重大さから、世界中でその対策が最重要課題とされる疾患であるが、吉岡部長は特にわが国における糖尿病患者の高齢化とそれに伴う新たな身体的・社会的問題を取り上げて解説された。高齢者の糖尿病はフレイルや認知症とも深く関係し、今後の日本の医療への影響は極めて大きい。治療法や予防法の進歩は言うに及ばず、社会インフラの整備まで含めた広い視野での取り組みの重要性を実感させる講演であった。



吉岡成人 先生

◆特別講演

「専門医研修と新しい専門医制度」

講師 一般社団法人日本専門医機構副理事長
山形大学医学部長 山下英俊
座長 第97回北海道医学大会会頭

吉岡充弘

日本専門医機構の山下副理事長は、日本専門医機構が育成しようとする専門医のコンピテンシーを示し、それを実現するためのロードマップを提示された。新しい専門医制度については、これまでも方針の不明瞭さや日程的な問題などがあり、不安を感じる関係者も多かったが、山下副理事長は、新たに策定された専門医制度が地域医療への配慮や各基本領域学会との連携を重視した設計であることを強調された。



特別講演講師 山下英俊 教授

お知らせ 研修会等への託児サービス併設費用の助成について

当会では、子育て中の医師などに対し、学習する機会を確保することにより、勤務継続や復職の支援を行うことを目的に、下記基準を満たす研修会などにおいて託児サービスを併設した場合の費用として2万円を上限に助成することといたしております。

つきましては、該当の会議、研修会等がございましたら、当会事業第三課までご連絡くださいますようお願いいたします。

助成基準

1. 対象
(1) 当会会員が会長となって北海道内で開催する全国規模の医学会など
(2) 当会会員が会長となって開催する、医師を対象とした学術講演会など
(3) その他、当会が認めたもの
【助成内容】託児室利用料、保育料、交通費
(遊具・おやつ・おむつ等購入代は対象外)
2. 期間 平成29年4月～平成30年3月実施分
3. 助成額 2万円を限度として実費を助成いたします。
※ただし、営利団体等の負担金がある場合は対象外とします。
4. 申請方法 領収書の写し等を添付の上、所定の用紙※によりご申請ください。
※下記連絡先までご請求願います。

《連絡先》 北海道医師会事業第三課
〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目
TEL 011-231-1726 (直通) FAX 011-231-7272 E-mail: josei-dr-shien@m.doui.jp